



広 報

きかい

No. 499

1

平成21年
(2009)

今日の佳き日に

年頭のあいさつ
 年男・年女のごこと
 平成20年度成人式
 シマの話題
 その1(さとうきび振興大会 他)
 その2(喜園伸一さん 他)
 その3(関西奄美民謡芸能保存会 他)
 裁判員制度について
 連載 シマの入り江と潮だまり(伊砂編)
 喜界歌壇・戸籍の窓・今月のわんこ
 新春を迎えたシマの風景
 島に咲く花・編集後記



左から 平 龍樹さん 吉山隆哉さん 金江 勉さん

左から 厚 三保子さん 相良 沙織さん



紬 を着る!!

表紙説明

かつて島の一大産業であった「大島紬」。薩摩藩にとって黒糖に次ぐ収入源であったため、役人以外は着用を禁じられていた。

成人式の日、紬に袖を通していただいたのは、編者が確認した限りでは7人であった。派手さはなくとも高貴なまでの美しさは、やはり成人式に相応しい。

「一生もの」いや、「親から子や孫へ」受け継がれる大島紬は、単なる工芸品でなく芸術作品である。1月2日、自然休養村センターにて。(友人との久々の再会で、談笑や互いの記念撮影に忙しいところを撮影させていただいた。感謝。)

新年のごあいさつ

町行政・教育行政・町議会の代表より
町民の皆様へごあいさつ申し上げます

先人が残した財産に感謝し
住民皆が夢の持てる町づくりに取り組む



喜界町長 加藤啓雄

明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、謹んで町民の皆様のご健勝をお慶び申し上げます。

また、平素より町政の各般にわたり、ご協力賜りまして、心から感謝申し上げます。

昨年は、原油価格の高騰にはじまり米国のサブプライムローンに端を発する金融危機が世界的な広がりを見せるなど、国民にとって受難の年であったように思えます。新たな年を迎えてもなお、その影響は大きく、経済の先行き不透明感が拭えて

おりません。そのような厳しい状況下でございますが、我々は歩みを止めるわけには行きません。現在、強力に推し進めております行財政改革を継続的に、無駄を省きながらも必要なところには、しっかりとした施策を実施していく所存でございます。

本年も常に目線を町民の皆様と同じ高さに置き、問題意識を共有しながら難局を乗り越えて参る所存でございます。

本町の基幹産業である農業分野においては、サトウキビを主幹作物に、肉用牛や花卉、果樹あるいは野菜等が立派な経営成果を上げておりますが、大規模畑地かんがい施設も本年でほとんど完成することとなりそれを活かした生産向上に向けて、今後も地下ダム施設の効果を最大限に活用して参ります。

昨年は台風がほとんど襲来せ

ず、適度な雨量にも恵まれ、サトウキビは今期も豊作でございます。収穫量は昨年を上回る九万三千トン台と予想されております。基幹産業の軸であるサトウキビが二期連続の豊作で、島全体が活気づき、大変喜ばしいことでございます。

近年、福祉問題・環境・教育・防災など地域社会の課題が複雑かつ多様化してきております。そこで民間が備えている能力や資源に注目して本町も民間への委託や委譲を進めております。昨年の実績といたしましては、保育所が最たる例でございます。今後も行財政改革の一環として民間委託・委譲を進めて参りたいと考えております。

さて、今年の大きなイベントとして、今世紀最大の天体ショーといわれる皆既日食がございませす。多くの観測者が来島することが予想され、宿泊施設利用などによる経済効果や本町のPR効果などが期待されます。町といたしましてもキャン

プサイトの設置や各種団体からなるプロジェクトチームでの話し合いなど準備を進めておりますが、一番大切なことは住民と観測者の双方が安全で安心して観測できる環境づくりにございます。その為に七月二十二日の本番へ向けて腰を据えて取り組んでまいります。

終わりに、これまで先人達から譲り受けた有形・無形の財産

『町民に開かれた教育行政の推進』
健康で、心安らぐ、癒しの町づくり



教育長 晴永清道

町民の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は町始まって以来、初めて、早町小学校を会場にして、一般町民の参観の下に『定例教育委員会』を行なったり、教育委員会が行なっている各事業が、『町民のニーズに合っ

に感謝して、安全・安心で住民皆が夢の持てる町づくりに全力で取り組んで参ります。

町民の皆様におかれましては、本年も一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。平成二十一年という年が素晴らしい年になりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

いるか』『公平性』『予算の効率性』はどうか等について評価をし、今後この『評価結果』を町議会に報告したり、町民に公表したりするための第一回『教育行政評価会議』を立ち上げるなど、『町民に開かれた教育行政の推進』に努めてきました。

本年も、加藤町政が掲げる『健康で、心安らぐ、癒しの町づくり』『ふるさとと自らの誇りをもつ教育』の推進に向けて、鋭意取り組んで参りたいと思っております。

学校教育の推進に当たっては、子どもたちが自分の人生をたくましく生きていくのに必要な学

力の向上に努めて参ります。アメリカ発の大不況の嵐が吹き荒れていますが、こういうときは、何かの資格を持っている人が就職に有利であります。小・中学校では、子どもたちが『行きたい学校』『とりたい資格』『つきたい仕事』につくために必要な学力向上に向けて、授業の改善を図るべく、全教師が年一回は研究授業をしたり、読書指導の充実に努めたりなどしているところですよ。

子どもたちの学力を高めるためには、家庭での学習が欠かせません。町PTA連合会では『家庭学習六〇・九〇運動』を展開し、小学生は六〇分、中学生は九〇分、家庭での勉強をしつかりやる運動を進めているところです。島の子どもたちが、本土の子どもたちと肩を並べて、激動の時代を生きるためには、『確かな学力』を身につけることが必要です。

平成二十一年が明けました。本年も『喜界島の子どももやれ』『できる』を合言葉に、『ふるさとと自らに誇りをもつ教育』を進め、基礎学力の向上や心豊かで心身ともに健康な児童生徒の育成に努めてまいります。

また、喜界町に『学びの風』を吹かせるとともに、『島唄大会』や『島ゆみた大会』『城久遺跡群保存活用検討委員会』の開催など、スポーツや文化事業の充実に努め、町民が心身ともに健康で、生きがいをもって、充実した人生を送れるよう、『健康で、心安らぐ、癒しの町づくりに努めてまいります。私達のふるさと喜界町が十年後、二十年後も豊かで住みよい

山積する課題を克服し

「自立・自興」を目指そう



町議会議長 中島 智一

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。喜界町議会を代表し、謹んで町民の皆様へ新春のお喜びを申し上げます。

このたび喜界町の栄誉ある議会議長を拜命することになりました。浅学非才ではありますが

町であり続けるためには、島の経済、産業、文化などを支える人材育成が現下の最重要教育課題であります。

本年も学校教育、社会教育行政の推進に、町民の皆様の力強いご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

おわりに、皆様のご健康とご多幸を心から祈念し、年頭のご挨拶といたします。

先人達のお力添えとご指導の下、喜界町議会十三名の同僚議員の皆様と共に町民の意志に添えるべく行政の最終チェック機関として活発な意見討論の場となるよう努める所存であります。

昨年を振り返ってみますと、国政においては、混沌の時期に入り、総理大臣が次々と変わり、「次の総理大臣は誰がなってもおかしくない」といわれたその時期に麻生総理大臣が誕生しました。

燃油の高騰が続いて、アメリカ発のサブプライムローン

の破綻による世界経済の落ち込み、日本経済は益々冷え込んだまま年を越し、地方においては財政力をはじめとする地域間格差が拡大し、昨年暮れの第五十二回町村議会議長全国大会においては、麻生総理大臣をはじめ衆参両院議長・鳩山総務大臣・その他、多くの国会議員が出席するなか「真の分権型社会の創造を目指して」と題して23

項目の要望書を提出いたしております。内容といたしましては、主なもので、町村財政の確立・地方税等自主財源の強化・地方交付税制度の改革等であり、さらには奄美群島振興開発特別措置法（奄振法）の期限切れの年でもあり、道路・港湾・台風被害による防潮堤の延長高上げ工事・平張ハウス・その他の補助金等、まだまだ奄振法に頼らなければならぬ事業は、数多く控えており、格差是正および離島の自立的発展のためには、なくてはならない法であります。5年毎の時限立法であり群島十二市町村が一丸となつて、国・県に働きかけているところでもあります。

さて、基幹産業である今期のさとうきびの生産量は、

9万3千6百トンの予想が示されました。一昨年来、台風被害もなく又、畑かん事業による散水効果も現れて、2年続けての大豊作が約束されているようであります。

農家の皆様にとつても町民の皆様にとつてもうれしい限りであります。夏場の白ゴマが60トンキープしており、畜産農家の子牛の出荷頭数も1千頭余を出荷し、花きや野菜などを合わせて、本町の農業所得が例年以上に期待できるのではないかと、所得が上がることよつて町民に明るさを取り戻せるのではないかと、こうした農業所得の向上こそが加藤町政が進める「安全安心で町民皆が夢の持てる町の創造」ではないかと思つ次第であります。

私達の喜界町はまだまだ厳しい財政運営が強いられています。山積する多くの問題を克服していかなければなりません。「自立・自興」を目指して、さらなる努力と知恵を出し合い平成21年に向かつてがんばりましょう。町民皆様の益々のご健康とご多幸をお祈りし、新しい年を迎えるにあつての年頭のご挨拶と致します。

今年(うしとし)は、お釈迦様へ新年のあいさつに一番最初に駆け付けたはずであったが、背中に乗っていたネズミに一番乗りを取られてしまったウシ。そんなお人好しなところがあっても、まじめにコツコツと物事をこなす、しっかり屋さんなのが、うし年生まれの特徴でしょうか？
ここで、うし年生まれの皆さんに新春にあたって「メッセージ」を述べていただきました。



『一枚の写真と還暦』



南島 健之(湾)

(昭和24年生)

我が家の
仏間の欄間に先祖の遺影に並んで古い一枚の写真が飾ってある。昭和三十四年の正月に撮影された亡き祖母の還暦祝いの庭先での記念写真である。庭には正月の風物詩であった白い砂が撒かれているのが見える。二十数名の親族が正装で一堂に会し、緊張した面持ちで写真に納まっている。当時小学三年生だった私に目を注ぐと、我が家の正月の定番だった真新しい下駄を履き、

洋服を着た直立不動の少年が写っている。洋服に下駄という取り合わせが、さすがに時代を感じさせる。

あれから、半世紀が過ぎた。祖母は七十六歳でこの世を去り、写真に写っている私の妹弟を除いて、父母を含めたすべての人が故人となった。巡り回って、写真の少年が還暦を迎えようとしている。

「還暦」は本卦(ほんげ)がえりともいわれ、生まれ直すという意味が込められていると云う。赤のちゃんちゃんこを着るのは、その由来と聞いている。人生五十年といわれた時代には、「還暦」は、天寿を全うした人生のゴールを祝い、子孫が先祖に無病息災を感謝する儀式であったものが、人生八十年の現代においては、その意味合いが変わりつつあるのではないかと考えている。高齢者の定義も時代とともに変わり、一般の職業の定年制も六十歳を撤廃あるいは延長の方向で法の整備が進みつつある。このことから、私は、「還暦」は人生のゴール

ではなく、残された人生を新たに生きるスタートの祝典である、と考えようとしている。

若さへの一抹のジェラシーとノスタルジーを覚えつつも、私は、家族から還暦の記念撮影を勧められたとしても、おそらく首を縦に振ることはないだろう。何故と問われたら、八十を数える人から見たら、私は二十歳の成人を迎えたばかりだ、と答えることにしている。

ともあれ、時代とともに変わりゆくもの、変わらぬものを見つめる我が家の一枚の写真である。

『学習も体力作りも』



荒木小5年 岩崎大雅

僕は算数が苦手な習ったばかりの復習プリントもついつい遅れて出してしまいます。

でも今年、教わったことや大切と思うところをノートに記録して、しっかり学習します。そして、得意の漢字も活かして成績を上げ、学習したことがよく分かったと胸を張れるようにしたいです。また、走力を中心に体力作りも努力して、相撲も

まだまだ強くなりたいです。下学年の手本になるように頑張ります。

『今年の目標』



小野津小5年 増田愛美

わたしの今年の目標は、まず三味線と島唄をがんばることで。今は、三味線も島唄もうまくできないのがんばりたいです。もう一つの目標は、四月から六年生になるので、今まで習ったことを復習して、六年生になってもわすれないようにしたいです。また、自分より下の学生の人をまとめて、今まで教えてもらったことを下の学年の人に教えられる六年生になりたいです。

今年、自分の目標がしっかりと達成できるようにがんばりたいです。

『継続は力なり』



八木敏文(中里)

(昭和48年生)

山口県出身の私が、一家で島に移住して早8年。当

初は喜界島の生活・習慣・方言等の違いに、驚きや戸惑いをおぼえましたが、今ではすっかり島の生活にも慣れ、仕事と趣味で、慌ただしくも充実した毎日を経験しています。

人情豊かなシマでは、島外から来た同い年の私を「同窓」と呼び、温かく受け入れてくれました。その温情に最初は戸惑いましたが、今では嬉しく、また有り難く感じております。野球はズブの素人ですが、同窓でつくるBBチーム(名前の由来は、48年生は団塊ジュニアであり第2次ベビーブームに生まれため)に入り、今では反省会で談笑しながら飲むことが楽しみとなつていきます。

娯楽の少ない島の生活を、楽しく過ごさせてくれる同窓生にも感謝です。

さて年男となった今年。まずは、最近怠っていた書道の練習を継続させ、そして次へステップアップ!

さらに、仕事、趣味、分け隔てなく大いに欲張っていきたいものです。継続することは単純であるけれど重要で、忍耐が必要で、ありふれた言葉ですが「継続は力なり」です。



「夢を確実なものにするため」「シマッチュ魂で乗り越えよう」

ふるさとで“誓い”も新た

～平成21年成人式に94人の新成人～

式典は、成人式実行委員会の竹下昇委員長（共催…早町中学校代表）が「仲の良かった、悪かった友人も、今日の記念すべき日に再会の喜びを分かち合おう」とあいさつし始まった。

まず、あいさつとして加藤啓雄町長が式辞、中島智一町議会議長が祝辞をし、晴永清道教育長が励ましのことばをかけた。記念品贈呈として、町長から西川祐太さんへ記念写真目録が、撰隆恵町選挙管理委員長から三浦あやさんへ成人手帳目録が、それぞれ手渡された。

次に新成人に贈る言葉として倉橋憲司さん（志戸樋）が「島に帰ってきて今、毎日が充実しています。職業として選んだ漁業は厳しいながらも、やりがいを感じているから。また、子どもたちに相撲を教えています。が、色んな素質を持った子が島には多く、そんな子どもたちを伸ばしていくことを使命と思っています。皆さんの悔いを残さないように何事にもチャレンジしてください」と訴え、卒業して島を離れるときに恩師からもらったという「我慢は自分を磨き、やる気は困難な道を拓く、継続は大きな力となり、反省は明日を築く。天才とは努力である」との言葉を紹介した。

引き続き新成人としての抱負として、第一中を代表して嘉真喜乃さんが「高校を卒業して二年、進学した私はこの春に卒業です。いまは夢を確実なものにするため、厳しい社会情勢のなかで就職活動に励んでいきます。それぞれ道は違っても、夢や目標に向かって互いにかんばりましょう」と、そして第二中を代表して榮鉄兵さんが「これからは厳しい社会で大人の一人として言動に責任を持たなければなりません。私は大学在学中ですが、目標達成のため残りの二年間を充実させて、大事に過ごしたいと思います。直面する困難も自分達のためと思い『シマッチュ魂』でもに乗り越えましょう」と、それぞれ誓った。

最後は、直島秀守収入役による万歳三唱で式典を終えた。その後は、各出身中学ごとに交流会をして旧交を温めあった。

喜界町成人式（主催…喜界町、町教育委員会）は1月2日、自然休養村管理センターで94人（男43人、女51人）を集めて開催された。



第一中学校代表 嘉真喜乃さん



第二中学校代表 榮鉄兵さん

成人式のスナツプシヨツト



成人の喜びを恩師とともに



お母さんも成人式



あかるい未来は？「あっち！」



舞美のお父さん！綺麗に撮ってよ！！



プロを差し置いて記念撮影



新聞にのるかな？



2期連続の9万トン達成、群島で先がけて8日搬入を報告

喜界町さとうきび生産振興大会



あいさつする加藤町長

及課の海田孝二郎技術補佐は群島内の生産状況を報告し、生和糖業株式会社の重野豊一課長代理は「天候などの好条件が重なり前期に続いての9万トン達成が確実であり、10・11月にかけて降雨が多く品質（糖度）低下が懸念されたが11・12月からの冷え込みで回復傾向にある。前期並みの収量が予想されることから4期連続年内操業開始となる12月8日にキビの搬入を開始して搬入終了は4月14日を予定している」などと報告した。

また、開発組合から、ハーベスタ刈取料・デトララッシャー使用料の改定や徴収方法についての説明があり、JAかごしま共済部からはキビ共済制度についての説明もあった。

無事故で豊作の喜びを

さとうきび原料輸送出発式
 生和糖業へのキビ搬入開始にともない、原料輸送出発式（使用される運搬車両の出発式）が12月8日、生和糖業であった。

出発式には生和糖業、行政、農協、運搬会社などの代表者が



関係機関代表によるテープカット

出席し、そろってテープカットをして操業と運搬の無事を祈った。

用語解説「WTO 農業交渉」

このページでのWTOとは、自由貿易の促進を目的として設立された国際機関である世界貿易機関（World Trade Organization、略称WTO）において、新多角的貿易交渉（ドーハ・ラウンド）で農業分野について協議されることを指している。全体では農業分野や工業分野など、全ての輸出入品目について協議する。

喜界島の基幹産業である砂糖類関連は、現状では輸入粗糖に約300%の関税がかけられている。当然政府としても従来どおりの関税を維持したいが、関税を許される「重要品目」は1332品目ある農産物において原則4%である。つまり53品目しか指定できない。さらに深刻なのは、協議の過程において砂糖類は重要品目から除外されていることである。

一方日本は、テレビ・自動車・半導体などの工業分野での貿易障壁の低減を訴えている。世界有数の貿易黒字国である日本と相対する国々は結果的に貿易赤字国がほとんどであるため、日本の要求は「ムシが良すぎる」となってしまう。

12月に入り、重要品目の1%分追加が新設され砂糖類にも光明が差したかにみえたが、その条件として沖縄・鹿児島が生産量に匹敵する約17万トンの粗糖を低関税で輸入しなければならない。これは妥協の範ちゅうを超えている。

いずれにせよ、われわれにとって「交渉決裂」という後味の悪いシナリオが、最良の結果となるのだろうか。

しかし、工業分野では逆の立場の日本が、交渉のイスを蹴ることができるだろうか。強大な政治的影響力を発揮している日本経団連（トヨタ、キャノン、新日鉄といった大企業が加入し、毎年多額の政治献金をしている）が控えているのだ。

果たして、このまま決裂するのか。あるいは苦渋の決断を迫られた政府が手を差しのべるのは、円高に苦しむ工業製品なのか。重要品目から漏れたさとうきび産業なのか。

いずれにせよ、交渉の成り行きが注目されている。

（解説の内容は12月20現在）

学ぶことの素晴らしさに感激

公民館講座等合同閉講式
 平成20年度の社会教育学級と公民講座の合同閉講式が12月14日、自然休養村管理センターで開催された。

式では最初に、町民憲章朗読などのあと、皆勤賞の授与があり、のべ34人の皆勤者を代表して廣秀範さん（上嘉鉄）が皆勤賞書を受け取った。

つづいて晴永清道教育長は「皆さんの笑顔を拝見すると、最後までやり遂げた達成感に満ちあふれており、わたしもうれ



謝辞をした岩下晶子さん

しく思います。また、皆さんの学び続ける姿に敬意を表します」と、今年度は押し絵教室の

平成20年度喜界町さとうきび生産振興大会が12月4日、自然休養村管理センターで開催された。
 あいさつに立った加藤啓雄町長は「前期に引き続き9万トンを達成できることを皆様とともに喜び申し上げます。キビは他の産業にも大きく経済効果を及ぼす基幹産業であります。これから長い製糖期が始まります。どうか健康に留意されてください」などと話し、交渉の行方が注目されるWTO（用語解説参照）について懸念した。
 つづいて、県大島支庁農政普

メンバーが、奄美パークで展覧会を開くまでになった事例を紹介するなどして式辞を述べた。

謝辞では、受講生を代表して岩下晶子さん（坂嶺）が「主人の退職後に帰郷して以来、公民館講座で学び、多くの友人がで、新しい発見がありました。今年度は英会話教室を受講し、簡単なあいさつをアメリカ人の先生と交わすことができるようになり夢のようです。講師の先生方や受講生の皆さんに心から感謝します」と、社交ダンスでは舞台発表ができるまでになった喜びも交えながら感謝した。式の終了後は公民館まつりと題し、それぞれ16講座の受講生が舞踊や着付け披露、大正琴などを舞台発表して花を添えた。また、会場ロビーでは藤工芸教室やちぎり絵教室など多くの講座の受講生作品が展示された。



最後は六調太鼓・踊り教室により大団円

20周年を記念してサッカー用具を寄贈しライオンズクラブ

喜界ライオンズクラブ（朝崎福利会長）は喜界町の少年サッカーを支援しており、その記念すべき第20回喜界ライオンズ旗スポーツ少年団ミニサッカー大会を12月14日、町総合グラウンドで開催した。

開会式で朝崎会長は「皆さんのなかから、将来Jリーグやワールドカップで活躍するよう選手が生まれることを期待します」とあいさつした。

つづいて、サッカーボール12個と練習着14着を各チームのキャプテンに寄贈した。

試合は5チームの総当たり方式で行われ、湾小6年チームが3勝1敗で優勝し、2位は荒木チームが2勝1敗1分で続いた。

試合ではさつそく寄贈されたボールが使用された。



ライオンズクラブの面々と記念撮影

シマの都市化地域、コーラル団地での「ムッチームライ」事情

シマの伝統行事のひとつに「餅もらい（ムッチームライ）」がある。コウソ祭から9日目の庚午（かのえうま）の日（冬折目：フユンミー）に行われ、ニセー（青年団）やメーラビ（處女団）が列をなして家々をまわり、歌や踊りをして餅をもらっていた（当時は米の餅は高級品であったため、粟餅であった）。

青年たちは「農神の使者」であり、シマの豊作を約束し、家々を祝福してまわっていた。

「ムッチンシク」（餅の節句）ともいう。

上嘉鉄、小野津、手久津久ではシチャミから5日目に行っていた（この日はシバサシの日でもある）。ちなみに、志戸桶、佐手久などのヒグラー貰いも同様の行事である。

いまも餅もらいが残る中里集落では、青年の参加がなくなつて久しく、中学生以下にとつて代った。また、今では餅ではなく現金をもらうようになっていた。今回は新暦の11月26日にあった。

中里集落にあつて「ジヌナー トウツチュ」以外の住民がほとんどのコーラル団地でも餅もらいが行われた。男女ごとに団地内の集会所に集まり、各家々を回つたが、同伴する保護者たち



ちゃんと踊ったらチンメーあげるね

も子供の頃に経験がなく、戸惑いながらの「餅もらい」であった。

団地の住民も餅もらいの風習がわからず、留守の家も多く、隣人に金だけ預けて「来なくていいよ」という家もあった。また、子どもたちの訪問を断る家や、居留守を使う家がある年もあるという。

それでも50世帯のうち、30世帯以上は無事に回ることができた。その後、年長者が集まった金を年齢に応じて子どもたち全員に分配した。

同団地に住む小学5年男子は「歌や踊りは大変だったけど、踊っているうちに温かくなつた。お菓子やお金ももらえてうれしかったです」と、臨時収入に喜んでた。

（※竹内譲著「喜界島の民俗」を一部参考）

餅もらい歌（中里編）

① 粟ふちやぎ給れ 米ふちやぎ給れよ 給ぶるはずならあ 真餅給れ
② 今年世は変てい あちくさぬま りていよ あちくさぬ 祝 祝てい えりしら

③ 有難どうやよおるお感謝あら どうやよりよ 来年の稲がらし 畔枕

〈※1〉①は道すがら、②はゾングチーで、③はもらった後で歌う。また、男女で歌が異なり、男子は勢いがあり、歌詞の後に「ハラドンドンセコライツサンセー」と、あいの手がはいる。女子のものは曲調がやさしい。

集落により歌詞も若干違うが、②の歌詞は集落により全く異なるようだ。また、4番、5番とあるが、現在では③までしか歌われない。

（ここでは中里の歌詞を紹介した。賀村幸之助著・中里言葉の不思議（ナートウユミタのウ トウマラサ）より抜粋）

〈※2〉感謝を「かぶさ」と言っているが、韓国語では「カムサ」という（カムサハムニダは「感謝します・ありがとう」の意味）。大変興味深い。

〈※3〉この歌詞の標準語訳が、今月号のどこかにかくれていま す。さがして比べてみましょう。



民生委員・児童委員活動たより No. 2



民生委員・児童委員の12月定例会を3日に開催しました。午後1時の開始前に、会場周辺（老人福祉センター）周辺の清掃作業を委員全員で行いました。

会の冒頭に、全員起立で「民生委員・児童委員信条」を朗読し、岩田進会長のあいさつ、基井宏信保健福祉課長の行政報告がありました。会では、去る11月20日に宇検村で開催された奄美群島社会福祉大会および知的障害者授産施設などの見学に参加した会員からそれぞれ報告があり、不参加者からは質疑などがあり意見交換をしました。

さて、群島社会福祉大会では、宇検村にある特別養護老人ホーム「虹の園」の入居者による療養音楽の発表ではじまり、永年在職者表彰、福祉学習発表、福祉作文発表や記念ライブなどがありました。なかでも感動的であったのが「アツキヨ」の記念ライブでした。

「アツキヨ」とは、厚君という男性と聴覚に障害を持つ清美さんという女性のコンビで、清美さんは、ハンディキャップに負けず「歌姫になりたい」という夢を「あきらめなければ、なんだってできる」との姿勢で頑張っており、多くの人に感動を与えています。

福祉施設の見学では、まず、在宅障害者の自立と社会参加を目指した「あしたば園」を訪問しました。「あしたば園」では、代表をはじめ職員の方々が明るく、利用者も生き生きとしていたのが印象的でした。

次に訪問したのは18才以上の知的障害者に対し職能を与え、自活を目的とした「滝の園」でした。施設内は清潔であり明るい雰囲気、喜界島からの入居者も2人おり、交流を持つことができました。

最後に訪問したのは、龍郷町にある県立大島養護学校です。小学生28人、中学生33人、高校生50人がおり、職員は75人でした。喜界島からの児童・生徒も7人おり、下校時には声をかけ楽しく会話しました。校内の環境も素晴らしく、施設もよく整備されていました。

今回の施設訪問に参加した会員たちは「施設運営者や職員が一所懸命で、施設内の雰囲気が明るく、入所者の皆さんも懸命に毎日の行事や作業に取り組んでおり、彼らから元気をもらえた」と一様に話していました。そしていま、私たちが直接できることは「あいさつ」と「会話」くらいですが、今後とも障害者の自立を支援する社会づくりの理解者になればという思いを、改めて確認できたことが成果です。

平成 20 年度 農業機械化研修（前半）の募集について

※大型特殊（農耕限定）

研修種別	回	日 程	募集人員	備 考
農業機械士 養成研修	1	5 / 18 ~ 5 / 22	若干名	募集対象：農業者等 募集期間：平成21年2月10日まで (大型特殊免許農耕用限定が取得可能)
	2	6 / 1 ~ 6 / 5	5名	
	3	7 / 13 ~ 7 / 17	10名	

※産業振興課で希望者を取りまとめ、県立農業大学校へ申し込みます。申込多数の場合は、農業大学校にて、締切後抽選を行い受講者を決定します。締切後は随時先着順で受け付けます。

問合せ 役場産業振興課 担当：實（みのる） TEL：0997-65-1456

裁判員制度施行元年を迎えて — 裁判員の役割について —

明けましておめでとうございます！

いよいよ今年の5月21日から、裁判員制度が始まります。「裁判員って何するんだろう…」と思っている方もおられるのではないのでしょうか。そこで、今回は、「裁判員の役割」についてお伝えします。

1 法廷での審理に立ち会うこと

裁判員に選ばれたら、裁判官と一緒に、刑事裁判の法廷に立ち会います。

法廷では、証人や被告人に対する質問などが行われますし、裁判員から、証人等に質問することもできます。このほか、証拠として提出された物や書類も取り調べます。

2 評議、評決を行うこと

証拠をすべて調べた後、被告人が有罪か無罪か、有罪だとしたらどんな刑にするべきかを、裁判官と一緒に議論し（評議）、決定（評決）します。

議論を尽くしても、全員の意見が一致しない場合、評決は、多数決により行われます。

有罪か無罪か、有罪の場合にどのような刑にするかについての裁判員の意見は、裁判官と同じ重みを持ちます。

3 判決の宣告に立ち会うこと

判決の内容が決まると、法廷で判決の宣告がされます。裁判員は、判決の宣告に立ち会い、裁判員としての仕事を終えます。

裁判員制度についての情報は、裁判員制度ウェブサイト (<http://www.saibanin.courts.go.jp>) にも掲載されています。是非ご覧ください！

快挙!! シマツチュがグランプリ日本賞受賞



JAPAN PRIZE 2008

第35回日本賞

よしどの
喜園伸一さん(しんいち)
(本籍:喜界町中間)
「グランプリ日本賞」受賞!!



喜園さん(5番目から左)とともに受賞者各
育番組の向上を
目的とした国際
番組コンテスト
である「第35回
『日本賞』教育コ
ンテンツ国際コ
ンクール」が10
月28日、皇太子
ご夫妻もご出席
され東京・渋谷
のNHK放送セ
ンターで開催さ
れた。

日本放送協会
(NHK、福地茂
雄会長)が世界
各地の放送機関
から募集し、そ
の作品の内容や
教育性を重視し
て審査・表彰す

173の機関が参加し、各部門ごとに293のエントリーがあった。
式典では皇太子殿下が「教育は過去の歴史や文化を受け継ぎ、今の社会が抱える様々な課題を克服して、誰もが幸福に暮らすために何よりも大切なこと

です。そのためにも、異文化理解や環境問題などの素晴らしい教育番組が、さらに発展することを願います」とお言葉を述べられた。

つづいて授賞式が行われ、青少年向けカテゴリーである外務大臣賞に、中間集落に住む喜園睦さん・富美枝さん夫妻の長男・喜園伸一さんが受賞した。また、各部門の受賞作から選ばれる最高賞「グランプリ日本賞」にも選ばれた。

喜園さんは、受賞作「課外授業 ようこそ先輩 みんないきていればいい」の番組制作責任者として受賞した。

同番組は、東京大学でバリアフリーの研究をする福島智(さとし)さんが、母校である小学校を訪れ、子どもたちに課外授業をするというもの。18

福島さんは9才で視力を、18



皇太子・雅子妃両殿下がご臨席された



受賞のスピーチをする喜園さん

才で聴力を失ったが、日本で初めて盲ろう者として大学進学を果たした。この経験から、子どもたちの目や耳をふさいだ状態で、廊下や階段の移動を体験してもらい「どんな境遇や体験も人生を豊かにしてくれる。大切なことは「見ることでなく観ること、聞くことでなく聴くこと」と訴えた。

審査委員長は「訴えかけることが難しい10代の若者をも引きつける心に響く内容。人間にとっていかにコミュニケーションが重要で、いかに相互理解を深めるかを考えさせられた。子どもたちの心のなかで、長い時間生きつづけるでしょう」と講評した。

受賞の喜びを喜園さんは「課外授業よろこ先輩」は10年続く長寿番組です。今回初めて「グランプリ日本賞」をいただいたことは、大変光栄で幸運だったと思います。この番組は、外部の制作会社と作っている番組で、今回は(株)東京ビデオセンターとの共同制作でした。ともに番組をつくった仲間、番組の「先輩」である、福島智さん(東大准教授)や神戸市立舞子小学校の子どもたち、番組に携わった皆さんに心から感謝しています」と話し「その後異動した」教育テレビの編集長として、これからも賞に恥じない番組をつくりたい」と付け加えた。(写真提供: NHK)

* * *

喜園伸一さんプロフィール

昭和31年、東京都大田区生まれ。民間の番組制作会社に入社し、TBS『遠くに行きたい』『オーケストラがやってきた』、日本テレビ『ウルトラクイズ』などの人気番組を手がける。平

成3年、NHK入局。『ためし
てガッテン』を立ち上げるなど
し、現在は編成局編成主幹（教
育テレビ、ラジオ第2担当。職
務は、各番組の企画と予算や放
送時間の配置など。今は来年度
に向けて、一週間の「番組表」
づくり忙しい）。

喜界島については「小学校の
頃、夏休みの30日間を、祖父母
が暮らす中間で過ごしました。
高倉のガヤブキ屋根の軒下か
ら、まだ毛も生えないインドウ
ンガー5羽を取ってきて、すり
餌で育てたり、中間のミンドウ
マイで集めた数十匹のヤドカリ
と巻貝の殻をたらいに入れ、一
回り大きい殻に入り直すのを弟
とずっとながめていたり、夢
のような毎日でした。また、大
学時代、友人から自分の父親
が、戦時中、特攻隊長として早
町基地（ボートに火薬を満載し
敵艦に体当たりする『震洋』部
隊と思われる）にい
て、「出撃はついに訪
れず」という体験を話
を聞きました。私の故
郷が喜界島だというこ
ともあり、昭和52年、
その方が喜界島を再訪
するの友人と同行し
ました。叔父が、当時
を知る島の人を紹介し
たり、私は一緒に島を
回って「通訳」をしま
した。（シマユミタを

話すことはできませんが、聞く
ことはほぼ大丈夫です）自分と
同じ歳で、この島で死を覚悟し
た日々を過ごした若者がいたと
いう事実を知り、省みることに
多かつたとともに、喜界島につ
いてもっと学びたいと思うきつ
かけになりました」と話し「喜
界島は自分のルーツであり誇り
です」と胸を張る。

喜界島の子どもたちへ

一昨年、シバサシで帰省した
際に、坂嶺小の運動会に参加し
ましたが「少ない児童数でも皆
に競技を見てもらえ幸せだ」と
感じました。喜界島の誇るべき
文化のひとつに、子どもを大勢
で守り育てることがあります。
この文化の貴重さ、得がたさの
お陰でいさつや気持ちのやり
とりが鍛えられていることに気
付き、そしてふるさとに誇りを
持つて欲しいと思います。



NHK総合 毎週日曜 午後1時05分〜
再放送 翌月曜 深夜1時05分〜

次回（1月25日放送）は、
「死の実験と生きる役割」
出演：新井満（作家）

藤村昭五副町長任期満了にともない勇退

行政マンとして41年、町勢発展に尽力

「退任にあたって

皆様へお礼のことば」

藤村昭五

加藤町長の2期8年間、私は、
助役として副町長として、町民
並びに全国喜界会皆様方の温か
いご理解とご支援のもと、大過
なく任期を全うする事が出来ま
した。誠にありがとうございます
ました。まずは町民の皆様にか
らお礼と感謝を申し上げます。

この8年間は、地方分権、国
の財源不足による地方交付税の
大幅削減、更には、国、県が推
し進めた市町村合併に伴う大行
財政改革、町民の念願でありま
した本庁舎の建設移転等、それ
ぞれ大変厳しい状況のなか、町
民、議会議員ならびに役場職員
の皆様方のご協力を頂き、町民
の幸せと町財政の維持健全化に
努めることが出来たのではない
かと思えます。

私は昭和42年、繁多町長当時
役場入りし、農業構造改善事務
局に配属され、今の畑総事業の
走りであります構造改善事業に
携わりました。当時は、町でも
初の事業であったこともあり、

町民の理解も薄く、農家の方々の
の同意を頂くために、交渉に明
け暮れる毎日でした。そのなか
で、交渉相手の方から、福岡助
役が晩酌中の焼酎を顔にかけら
れ「二度と来るな」と追い返さ
れた日も何度となくありまし
た。

福岡助役の喜界町の農業発展
に対する信念のお陰で現在のほ
場整備があり、機械化農業があ
るといっても過言ではないと、
改めて当時を振り返ります。

それに伴い、国営地下ダムの
地質調査が昭和53年から実施さ
れ、平成12年、地下ダム本体工
事が完成。16年には国営事業の
全てが完成し、現在は、県営事
業による末端のスプリンクラー
の設置事業を残すのみとなりま
した。平成22年度には計画面積
の1670haが、完成する
予定となっております。何もな
いほ場に道路水路区画整備をす
ることで、現在では、農家の方々
の理解も高まっております。

現代は全てにおいて、機械、
パソコンの時代です。当時の現
場で、テープや測量機器で出た

数字を四玉のソロバンで計算し
て測量設計した時代の私の経験
は、今や必要ありません。それ
を思うとき、何より自分の年齢
と時代の急速な変化に驚くばか
りです。しかし、どのように時
代が移り変わっても、人と人と
の心の交流、付き合い方や上司、
同僚、部下との信頼関係構築は、
大切なもので、そのことから、
全てが成功に繋がっていく
くものと感じております。

私の通算公務員生活41年5ヶ
月は、同僚職員はもとより、町
民をはじめ、各関係機関や全国
喜界会の皆様方のお陰であるも
のと、心より感謝致しております。
す。ありがとうございます。

今後とも今まで同様のご指
導、ご鞭撻を賜ります様、よろ
しくお願い申し上げます。更なる
喜界町の発展を心よりお祈り
致します。



職員に見送られ「最後の退庁」

一人一人の人權が
尊重される社会の
実現を目指して!

世界人權宣言60周年記念
「人權同和問題講演会」

世界人權宣言が、今年12月に採択60年を迎えることを記念し、11月19日(町民対象)・20日(行政職対象)の両日、役場コミュニケーションホールにおきまして人權同和問題講演会を開催いたしました。

講師に県環境生活部人權同和对策課の「前田隆幸」研修専門員を招き、様々な人權についての話しやビデオを視聴しながら、楽しく、分かりやすく説明して頂きました。



聴講に訪れた皆さん、熱心に聞き入っていました。

世界中のだけれど、幸せに生きる権利を生まれながらに持っている。お互いの「ちがいが」

を認め、尊重しあえる時代が到来することを願うところです。今回の60周年記念講演会は、参加者にとって人權を見つめ直す大変良い機会となりました。

しめ縄作りにチャレンジ!

親子もの作り教室

町子ども会育成連絡協議会恒例のしめ縄作りが12月20日、役場におきまして開催いたしました。



基幹作物であるサトウキビの葉でしめ縄を作りました。

当日は、登洋一さん(荒木出身)を講師に招き、12月とは思えないばかりか陽気の中、10組の親子が正月用しめ縄作りに取り組みました。

出来上がった作品の中には、しめ縄の中央にサトウキビの葉を編み込んだ輪っかを飾り付けた作品など、工夫を凝らした作品も多く見受けられました。初めてのはしめ縄作りに四苦八苦し

ながらも、参加した親子にとっ て充実した一日となったようです。

46名の児童生徒、一般が
完走!

第49回南日本10kmロードレース
又通信競技大会

12月21日(日)に県下一周市郡対抗駅伝競走大会などの選手選考を兼ねた標記競技大会を開催いたしました。



各島々で同時刻に出発(スタートラインに立つ5km・10kmにエントリーした参加者)

冬休み前の日曜日ということもあり、町内の小・中・高校生、一般を含めた46名が参加し、完走を目指しました。

参加者は、中里(創価学会前)を発着点とする3km・5km・10kmコースを個々の体力に応じて選び、記録更新や自己鍛錬を目的し、冬の喜界路を疾走いたしました。完走した参加者に完

走賞の授与があり、「来年こそは!」と次回大会に向けて意欲を見せておりました。

教育から共育へ 強制
(矯正) から共生 (共成)
へと提言!

子育て・親育ち講座

今年からスタートした「地域における家庭教育支援基盤形成事業」の目玉である標記講座を開催いたしました。

2回目となる今回は、父親を対象とした講演会で、NPO法人「麻姑の手村」の卓間光哉理事長(羽里出身)を招き、御講話を頂きました。会場には86名の聴講者が詰めかけ、卓間氏からスクール生とのエピソードや様々な活動の紹介があり、各家庭での子育てに参考になりました。



「家庭における親父の役割と子どもとの関わり」という演題で御講話を頂きました。

移動教育委員会の開催
地域住民へ説明責任を

喜界町教育委員会(藤岡幸雄委員長)は11月17日、早町小学校において移動教育委員会を開催しました。

これは、平成20年4月1日に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、教育委員会の活性化が求められていることを受けて、広く町民に公開するためです。

住民へ説明責任を果たすために、今回教育委員会史上初めて小学校での開催で、傍聴者が入場しての会議となりました。

傍聴者の一人は、「教育委員会では、どんなことが協議されているのか分からない町民も多いのではないかと。今後、開催についての広報を工夫してより多くの町民が参加してほしい」と述べました。晴永清道教育長は、今後とも広く町民に開かれた教育行政をすすめる方針であります。

今回の移動教育委員会は、一月に上嘉鉄小学校で開催予定なので、多くの町民に傍聴していただきたいと思います。

あけましておめでとうございます。

昨年は、「メタボ元年」でした。すこやかセンターの一部の職員と同じように、肩身の狭い思いをされている方も多いのではないのでしょうか。

「肥満＝医療費を使う悪」という一方的な考え方ではなく、

◎ 自分や家族の人生の目標や夢をかなえるために必要な健康を維持する

◎ 心筋梗塞や脳梗塞の危険性を少なくする

◎ 痛みや、自覚症状が出てきてこのままでは大変だ

など、太っているよりは少し痩せた方がいいと自分で納得する理由がないと長年の生活習慣を変えるのは難しいようです。

特定保健指導で生活習慣の改善に取り組んでいる皆さんも、実際に体重が減ってくる、「血圧や血糖値が安定した」「息切れ・関節の痛みがよくなった」、などの効果を実感し、継続の大切さを感じているようです。

「決意と継続と効果の実感」今年こそ、三日坊主にならないよう効果が出るまで頑張ってみましょう。最低でも3ヶ月

月続けないと、効果は実感出来ないそうです。

お母さん、子供さんの予防接種はお済みですか。

幼稚園年長組、中学1年生、高校3年生のMR接種（はしか・風しん）は、3月までです。接種率が低いようです。期限内に接種しましょう。



集落すこやか教室



体操教室

高齢者の笑顔は島の宝 喜界町の高齢者は頑張っています

久々に家族そろって、新年を迎えたかたも多かったのではないのでしょうか。高齢者の嬉しそうな顔が浮かんできます。

帰省された方にとっては、家の隅々のほこりや、流しの汚れが気になるかもしれませんが、まずは一人暮らしを続けている高齢者の頑張りを認めて、ほめていただきたいと思えます。

島には、介護保険のサービスに頼らず、自分なりに頑張っている高齢者がたくさんいます。

日常の生活を、出来るだけ他人の手を借りずに続けること、「生活」自体がリハビリになり、寝たきりを防いでいるのだと思います。

一緒に生活できないのなら、少々のことには目をつむって、今していること、出来ていることを続けてもらうことが、大切だと思います。

ただ、頑張っても出来ないことを怒られたり、非難されたりするのはとても辛いことです。出来ないことには、家

族の協力や、介護保険のサービスが必要です。気づいたことや、気になることは、担当のケアマネージャーに伝えましょう。

介護保険のサービスを利用していない高齢者のことは、包括支援センター（すこやかセンター）まで、ご連絡下さい。

一人暮らしを続けている高齢者には、親戚や民生委員、近所の皆さんの見守りが不可欠です。島に帰省されたときには、連絡先をしっかりと伝えておくことも忘れないでください。

島の介護保険のサービスは限られています。「最後まで自分の家か、島の老人ホームで暮らしたい」という高齢者の全ての願いに答えることは出来ないのが現状です。

島外の子供さんの近くに施設を探して、入所される方も増えてきています。

家族が集まる機会に、親の老後をどう支えるか、自分の老後をどうしたいか、話し合っておくことも必要ではないでしょうか。

3歳児健診でむし歯ゼロだったよ！



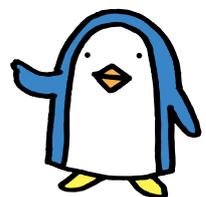
柏原 碧斗くん



豊原 那織くん



吉 梨音ちゃん



けいさつ よいお知らせ

最近、自動車の無車検運行や無保険（自賠責保険）運行が散見されます。無車検運行は「6か月以下の懲役又は30万円以下の罰金」、無保険運行は「1年以下の懲役又は50万円以下の罰金」と、大変厳しい罰則が科せられる悪質な違反行為です。違反点数はそれぞれ6点が付されます。

また、交通事故を起こした場合、被害者に対する補償がなされなくなるおそれがあります。

この機会に、皆さんが管理される車の車検証及び自賠責保険証の有効期限を確認し、違反がないようにしましょう。

事業所等で多数の車を管理している方は、特に注意しましょう。

平成21年度保育所入所の申込について



【対象児】 ひまわり第一保育園：小学校就学前の児童
ひまわり第二保育園：3歳までの児童

【受付期間】 平成21年1月20日（火）
～1月22日（木）3日間

【受付時間】 午前9：00～午後6：00

【受付場所】 喜界町役場・保健福祉課（窓口）

【申込用紙】 ひまわり第一、第二保育園・保健福祉課

【入所基準】

- ①居宅以外で労働することを常態としていること。
- ②居宅内で当該児童と離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としていること。
- ③母親が出産の前後、病気、負傷、心身に障害がある場合。
- ④死亡、行方不明、拘禁などの理由により親がいない家庭の場合。
- ⑤家庭に長期にわたる病人や心身の障害のある人があり、親が常時看護にあたっている場合。
- ⑥地震、風水害、火災、その他の災害の復旧に当たっていること。

※ 詳しくは役場保健福祉課（TEL 65-1111）へお尋ねください。

○法定調書の提出は

2月2日まで

給料、報酬、不動産の使用料等を支払った場合には、支払先の住所、氏名、支払金額等を記載した源泉徴収票や支払調書等（総称して「法定調書」といいます。）を税務署に提出することになっていきます。

この法定調書は、利子、配当等の一部を除き、一年間の支払分を取りまとめ提出するもので、平成二十年中の支払に係る法定調書の提出は、平成21年2月2日までとなっていますから、記載誤りのないよう正確に記載し、期限までに提出してください。

なお、法定調書の提出については、「国税電子申告・納税システム（e-Tax）」を利用してインターネットでの提出ができます。

法定調書を e-Tax を利用して提出するための手続等、詳細については、ホームページをご覧ください。最寄りの税務署（資料情報担当）にお気軽にお尋ねください。

● e-Tax ホームページ

<http://www.e-tax.nta.go.jp>

大島税務署

電話 0997-521-4321

※自動音声案内

○確定申告は正しくお早めに

確定申告の時期が近づいてきました。

平成20年分の所得税の確定申告期間は、平成21年2月16日から平成21年3月16日までとなっています。

所得税は、納税者自身が所得金額や税額を正しく計算して納税する申告納税制度を採っていますので、所得金額や税額を正しく計算し、申告と納税は、期限内にお済ませください。確定申告書の提出は、郵送等でも結構です。

申告期限が間近になりますと、申告会場は大変混雑し、長時間かかる場合もありますので、お早めに申告をお済ませください。

なお、国税庁ホームページの、「確定申告書等作成コーナー」で簡単に申告書等の作成ができますので、是非ご利用ください。
(<http://www.nta.go.jp>)

詳しいことは、最寄りの税務署にお尋ねください。

大島税務署

電話 0997-521-4321

※自動音声案内

国民健康保険の保険税のお支払いについて

— 来年度から、「年金からのお支払い」と「口座振替」の選択制となります —

国民健康保険の保険税につきまして、口座振替でのお支払いをご希望される方は、税務課の窓口へお手続きください。

平成21年2月6日（金）までにお手続きいただくと、平成21年4月分の年金からのお支払いが中止され、6月から**口座振替により**お支払いいただくこととなります。（お支払いいただく保険税の総額は変わりません。）

※これまで、2年間、国民健康保険税の納め忘れがなかった方が口座振替で支払う場合に限って、口座振替とすることができましたが、こうした限定がなくなりました。

※上記の期限を過ぎてお申し出いただいた場合は、6月分以降の年金から中止させていただきますので、ご了承ください。

ご注意ください

- 1 このお知らせは、事務処理上の都合により、平成20年12月1日現在、保険税について年金からお支払いされている世帯主の方、平成20年4月2日～10月1日の間に65歳になられた世帯主の方及び転入されてきた世帯主の方を対象としています。
- 2 お手続きは、最寄りの金融機関に口座振替依頼書を提出していただきます。
- 3 口座からのお支払いに変更した場合、その社会保険料控除は、口座振替により支払った方に適用されます。これにより、世帯全体の所得税や住民税が減額となる場合がありますので、ご注意ください。

本件に関するお問い合わせは 税務課 電話 65-1111（内線 41.42）



関西奄美民謡芸能保存会
初の喜界島公演、120人が来島



会場は約800人の観衆で埋まった

「ふるさとに感謝をこめて」と銘打った関西奄美民謡芸能保存会（会長・里井達吉氏）による喜界島公演が12月7日、第一中学校で開催された。

公演は、同保存会が数年毎に各島々を訪ねて、当地の芸能保存者と競演して交流を深めようというもの。喜界島公演は奄美市、徳之島町に次いで三度目であり同保存会に属する約120人が来島した。

会場となった一中体育館には、昨今の民謡ブームから多くの町民が訪れ、立ち見席もできるほどであった。同保存会の里井会長は「先祖が遺した奄美民謡をわれわれが交流を重ね理解を深め、歌源を共有し大事にしよう」とあいさつした。

公演は3部構成で行われ、第1部では同保存会の一六教室のメンバーが「まんこい節」「よいすら節」等の島唄や踊りを披露し、本町出身者をメンバーとする関西喜徳謡会が登壇し「いきゆんにや加那節」を披露すると、会場からは暖かい声援がとんだ。

また、第2部では本町の文化協会の団体が7演目に登壇、荒木民俗芸能保存会の「棒踊り」や奄美芸能島唄研究会の島唄を披露し、今年の全日本民謡大会で活躍した川畑さおりさんも受賞曲の「嘉徳なべかな節」で会場を魅了した。

第3部は再び同保存会が17演



派手さはなくとも上品な美しさのある大島袖「踊りの息もぴったり」



ふるさとへの想いをバチに込める

目を披露した。最後は出場者全員による六調のにぎやかな調べが会場を覆い、約4時間にわたったシマ唄と踊りの競演は、最高の盛り上がりを見せた。

奄美古来の伝統芸能をこよなく愛し、またその伝承者ともいふべき約120人の保存会。出演者のひとりには「メンバーの島唄への真剣な取り組みを通じて、皆の故郷に対する強い想いを肌で感じました」と話し、大阪からの参加者が幼馴染みという観客は「島にいる私は唄や三味線が全くできないのに、大阪で練習していてカンシンジャ」と話した。

翌8日、公演を終えた一行は、疲れも見せず「はまゆり学園」や「グループホームがじゅまる」などを訪問し、入所者と交流するなどして喜界島を後にした。

「おひさしぶりです！牧岡奈美です。
東京でがんばってます」

幼少の頃に祖母・盛スミさんの影響を受け島唄を始め、その類いまれな才能をいかし'99年には16歳の若さで「鹿児島県民謡王座決定戦」で3年連続優勝を果たし「名人位」に選ばれ、'02年に開催された「奄美民謡大賞」大会では最高賞の大賞を受賞し名実共に、奄美の「歌姫」、島唄の第一人者となった牧岡奈美さん。福祉施設の訪問や「喜界町夏まつり」などにも積極的に出演し、町民を楽しませてくれたことは記憶に新しい。

牧岡さんは奄美市の専門学校を卒業後、保育士や同校の講師として勤務していたが、現在は東京の地で夢を追いかけている。

安定した生活を捨てて上京した理由は「子どもたちが好きで学校での仕事も楽しかったが、高校の頃から歌手になるのが夢で、一度は挑戦しないと後悔すると思った」から。

主な活動内容としては「ライブハウスなどで島唄やオリジナル曲を唄い、沖縄など東京以外でも唄ってます」と話し、ゴダイゴのミッキー吉野や元サザンオールス

ターズの大森隆志らとも共演しているという。今では都会の生活にも慣れ、これまでの後ろ向きだった性格が前向きになり、困難も「神様が与えてくれた試練」と思えるほどたくましくなったという。

これからの目標として「泣いたり笑ったりの人生の大切なことを伝えられるように、唄で幸せを与えられるように、シマのことを忘れずに唄っていきたいです」と話し、「皆さんに直接伝えることができなくて残念ですが、本当に喜界島の皆さんに感謝しています。これからも応援してください」と付け加えた。



東京でのライブ風景（高橋伸弥さん提供）

牧岡奈美の近況やライブ情報は
ブログ「唄神（うたがみ）」で検索!!

牧岡奈美 唄神

シマの入り江と潮だまり

伊砂編

伊砂集落は背後にウフヌスク(大城久)の丘陵が控え、神山と呼ばれるソウス山(最近ではヒカゲヘゴが確認された山。本誌5月号参照)の前にはサトウキビ畑が広がる。

藩政時代、ウフヌスクから早町方面への坂道はクチャミチャ(島尻層の粘土)のため難所であったが、薩摩藩士である木元半蔵の子・仁誠(ジンセイ)は、私財を投じて石を敷きつめた。これに人々は喜び、その功により仁誠は与人に取り立てられ、「仁」の姓を賜り、仁仁誠(ジン・ジンセイ)と名乗ったという。ソウス山は集落の共有地であるが、戦後しばらくまでは立ち入り禁止であり、ユタがソウミ(みそぎ)をし、神事に使う水を汲んだという。

集落は上島(ウインシマ)と下島(サンシマ)に分かれており、藩政時代には伊実久、中間、滝川とともに「伊砂間切」を構成し、その筆頭村であった。飛び地で間切りをしたのは、その当時の政治的事情によるものだという。

また、小規模集落にもかかわらず、医師を絶えず輩出する集落でもあった。竹内譲著「喜界島の民俗」より

言い伝えなどについて

ジングマー(写真③)

エビが良く捕れた場所。ジングマーという人物のみ漁業権を持っており、他の者は近づくことさえ出来なかったという。

ワタンニユウ(写真⑤)

細長い入り江であり、満潮になると戻ることができず、「ニユウニユウ」したため。

ターシ(写真⑥)

入り江の口にふたつの岩があるためこの名がついた。

ウシヤチトウマイ(写真⑧)

その名のとおり牛を焼いた場所。

タネイトウイ(写真⑨)

旧暦8月の戊午(つちのえうま)の日に行われる儀式であるタネイトウイ(通常は五穀豊穣を願う儀式であるが伊砂と志戸桶は麦の豊作祈願)に使われる潮水と小石を取った場所。ちなみに海のない川嶺では、山の泉から取った。

ウスハマ(写真⑩)

まだ泳げない子どもたちの練習場所であった。

ピジョンハナー(写真⑬)

今は防潮堤が出来ているが、「ハマリー」(浜降り)をした場

所。喜界島は神社が多いが、伊砂にはない。集落民は「見らん神より、ウヤフジ拜め」と大いに自慢したという。その代わり、

ハマリーや豊年祭は他集落に負けて盛大にし、豊年祭では上島・下島に分かれて綱引きをした。下島側の綱が切れると豊作になるといわれていたため、話し合



(写真提供:松平浩久さん)

いにより下島側の綱が切れるように細工をしたという。
インガチ(写真⑮)
ヤギなどの屠畜場所であったという。
ウルドウマイ(写真⑯)

ウルドウマイ(写真⑯)

名前の由来は、「大きな入り江(ウルル大、ドウマイ泊)から。サンゴが発達し美しい入り江だったという。

イサンドウマイ(写真⑰)

イサンハマ(写真⑱)

今はもう面影はないが、イサンハマは美しい砂浜であった。坂嶺との漁業権などの境界であった。
(熊本要さんより聞き取り)

- ①サギナワ
- ②オドーマルー
- ③ジングマー
- ④エバー
- ⑤ワタンニユウ
- ⑥ターシ
- ⑦スミチー
- ⑧ウシヤチトウマイ
- ⑨タネイトウイ
- ⑩ウスハマ
- ⑪ムチェー
- ⑫ヒィヨー
- ⑬ピジョンハナー
- ⑭ユワイ
- ⑮インガチ
- ⑯ウルドウマイ
- ⑰イサンドウマイ
- ⑱イサンハマ



新春のシマの風景



初もつで
親の願いはただひとつ
「わが子のすこやかな成長」



初日の出

今年も「クレオパトラのめざめ」は雲のむこう。どうやら彼女は恥ずかしがり屋らしい。

今春、新しい生活が始まる喜界高校3年生が願をかける。闘牛のように突っ走れ！（百之台にて）



帰省客でにぎわう元旦の空港



11チーム235人が健脚を競った元旦マラソン



今では商店も元旦営業

新年弓道射会
「見事の中！幸先の良いスタート」



明治43年から続く中里敬老会
恒例の小牧イネ子さんによる祝舞



喜高野球部OBと現役の新春試合



サトウキビ (砂糖黍)

別名は「甘蔗 (かんしゃ、かんしょ)」、シマユミタではウーニー、ゲイなど。いうまでもなく喜界島の主幹産業である。生命産業といっても過言ではない。イネ科の作物である。園芸作物などに比べると栽培が容易で、市況や販路を気にすることなく作れば作っただけ決められた値段で買い取ってもらえる。また、運搬や委託収穫、購買力増加などで、キビ生産額の4倍もの経済波及効果が地域にもたらされるといわれる。WTOの行く末が気になりである。

江戸時代には島民は黒糖で年貢を納め、その取り立ては「黒糖地獄」といわれるほど苛烈を極めた。江戸末期から明治維新にかけて薩摩藩が中心となり、新しい日本の建設(明治維新)が進められたが、その薩摩藩の財政をうるおしたのは、奄美の黒糖であった。いいかえればシマツチュの血と涙が、新しい近代日本を打ち立てたともいえる。なかでも喜界島産黒糖は、薩摩藩から「一番上等」のお墨付を受けていた。いまも沖縄産や他の奄美産の黒糖より評価が高いことで良く知られている。

黒糖焼酎の原料にもなり、喜界島にとっては欠くことのできない、まさしく生命作物である。花ことばは「平和」。(写真撮影:富 充弘)

12-1月 咲く島に花

ニンニクカズラ (ガーリックバイン)



吉浦時計店(赤連)にて。ノウゼンカズラ科。熱帯アメリカ原産。名前の由来は、葉を手でもむと「ウンママ、ヒルハダー」がするため。葉をつぶさない限り臭いはないため、鉢植えにして室内でも鑑賞できる。美しい花を咲かせ、挿し木で容易に育つ。花ことばは「個人的」「短気」「ありのままの私を見て」など。

トックリキワタ(徳利木綿)



基松乃さん(中間)宅にて。南米原産の落葉高木。アオイ目、パンヤ科。名前の由来は幹がトックリのようにふくらんでいるため。その幹には頑丈ですどいトゲが無数にあり注意が必要。美しい花を咲かせ、実が割れると綿に包まれた種子が散らばる。その綿はクッションやヌイグルミに使用される。花ことばは不明。

編集後記

あけましておめでとうございませう。とはいえ、この文を書いているのは「去年」であるので、広報誌担当として「この一年」を振り返りたい。

広報きかいを読み返して感じるの、初めて手がけた5月号のつたなさである。我ながら恥ずかしく、作り直したい思いだ。

それよりも感じるの、自然や文化をはじめとする「島の宝」の素晴らしさと、特に子どもたちの頑張りである。色々なことに打ち込み、成果を残している。一心に物事に取り組んだことは将来、どんな職業に就こうとも、一生の財産になるだろう。

今、出口の見えない不景気により「派遣切り」などの暗い話題に覆われている。しかし、手に職を持つている人は失業の心配が少ない。島の子どもたちが手にした財産は、いずれ心の「手に職」となる。私をはじめ公務員は、今のところ法により身分を保障されている。しかし、「仕事に正面から取り組めない」、「住民から信頼されない」職員は、将来には淘汰(とうた)されていくだろう。

島の子どもたちに教えてもらった。「まず、自分が頑張らねば」と。(植村)